



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年5月14日

上場会社名 株式会社アクリート 上場取引所 東
 コード番号 4395 URL <https://www.accrete-inc.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 優成
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 ビジネスサポート部長 (氏名) 栗原 智晴 TEL 03-6773-1000
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の業績 (2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	605	68.4	124	78.3	124	79.7	85	82.1
2020年12月期第1四半期	359	0.1	70	△3.1	69	0.9	46	△1.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	15.16	14.51
2020年12月期第1四半期	8.49	8.09

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	1,679	1,341	78.5
2020年12月期	1,603	1,266	77.8

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 1,318百万円 2020年12月期 1,247百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	-	5.00	-	5.00	10.00
2021年12月期	-	-	-	-	-
2021年12月期 (予想)	-	5.00	-	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,171	25.4	373	8.3	373	8.1	254	5.4	45.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	5,635,200株	2020年12月期	5,575,200株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	99株	2020年12月期	99株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	5,632,509株	2020年12月期 1 Q	5,521,955株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により世界的に経済活動が大幅に落ち込み、景気が急速に悪化する状況となりました。昨年4月に発令された緊急事態宣言が解除された後においても、新型コロナウイルス感染症の患者数が再び増加し、本年1月に2回目の緊急事態宣言が発令されるなど、依然として景気の先行きは不透明な状況にあります。一方、各国でワクチンの接種が始まっており、各種政策の効果もあって、徐々に世界経済持ち直しの動きが現れることが期待されております。

SMS配信サービス業界においては、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響を受け、ニューノーマルと呼ばれる、社会・経済活動が大きく変容するなかで、SMS配信サービスの認知度が向上し、SNSやスマートフォンアプリの利用時などの本人認証通知、公共料金・税金など督促の通知、飲食業界のノー・ショー（飲食店における無断キャンセル）対策としての予約確認など企業と個人の間でのコミュニケーション手段として高い到達率と開封率というSMSの有用性を再認識する企業の増加に伴い、SMS配信市場は急速な広がりを見せており、2024年の国内直取市場規模は配信数84億4,000万通と予想され（「ミックITレポート2020年11月号」（ミック経済研究所））、2021年度から2024年度までの年平均成長率は46.1%増で、引き続き安定高成長を続けると予想されております。

このような状況の中、当社は「デジタル社会に、リアルな絆を」というビジョンを掲げ、「コミュニケーションするすべての人に、セキュアで最適なプラットフォームを提供する」というミッションのもと、国内の携帯電話事業者4社との直接回線接続、大量配信に耐えうるSMS配信システムなどから海外SMSアグリゲーター、IT企業、コールセンター、人材サービス会社等からの支持を受け、業界内でのポジションを確立しSMS配信サービス事業を展開しております。

当第1四半期累計期間におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、緊急事態宣言により臨時休業や営業時間短縮を余儀なくされた飲食店や娯楽施設など業績が大きく冷え込んだ業界においても営業再開により持ち直しの傾向が見え、国内市場全体においては、配信数や取引社数ともに順調に推移した結果、国内売上については対前年同期比で大幅に増加しました。また、海外SMSアグリゲーター経由については、当社が提供する「国内正規配信ルート」とは別に、配信ルートの競合として安価な「海外グレー配信ルート」が存在し、価格競争が激化し、フィッシングSMS配信の一因となっていましたが、2019年以降、収益性や安心・安全な信頼性重視という方針のもと、不採算取引先の整理やプライシングスキームの変更等を行った結果、減少傾向にあった配信数も回復基調となり、海外売上についても対前年同期比で大幅な増加となりました。

このような市場環境を踏まえ、当社では「SMS×α」をコンセプトにSMSを活用した付加価値の高いサービス開発を推進しており、2021年2月より飲食店人材採用向けAIチャットボット「Truffle AI for アルバイト採用」に「+メッセージ/SMS」を連携しコロナ渦による人材不足への対応支援を行い、同年3月より総合行政専用ネットワークLGWANでのSMS送信を可能とする「SMS送信コネクf or LGWANを提供するなど、新型コロナウイルス感染症拡大に対応する企業・自治体等をBCP対策の側面から支援するサービスを積極的に展開しております。

以上の結果、売上高は605,180千円（対前年同期比68.4%増）、営業利益は124,845千円（同78.3%増）、経常利益は124,831千円（同79.7%増）、四半期純利益は85,385千円（同82.1%増）となりました。

なお、当社はSMS配信サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の財政状態は、前事業年度末に比べて、主に四半期純利益の計上により純資産が74,615千円増加し、財政状態は良好な状態で推移しております。

資産、負債、純資産別の財政状態は以下のとおりです。

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べて75,822千円増加し1,679,584千円となりました。これは主に現金及び預金13,624千円や売掛金46,904千円、未収消費税等10,729千円の増加によるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて1,207千円増加し338,517千円となりました。これは主に買掛金の増加36,380千円に対して、未払法人税等の納付等による減少38,699千円によるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて、74,615千円増加し1,341,067千円となりました。これは四半期純利益の計上による利益剰余金の増加85,385千円及び新株予約権の権利行使に伴う資本金6,750千円、資本準備金6,750千円の増加に対して、配当金の支払いによる利益剰余金の減少27,875千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の業績予想については、2021年2月12日付「2020年12月期 決算短信」で公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,217,791	1,231,416
売掛金	255,283	302,188
未収消費税等	21,524	32,253
その他	3,693	8,597
流動資産合計	1,498,292	1,574,456
固定資産		
有形固定資産	35,654	36,460
無形固定資産	44,781	47,073
投資その他の資産		
破産更生債権等	162	162
その他	25,031	21,594
貸倒引当金	△162	△162
投資その他の資産合計	25,031	21,594
固定資産合計	105,468	105,127
資産合計	1,603,761	1,679,584
負債の部		
流動負債		
買掛金	226,623	263,004
未払法人税等	77,857	39,157
賞与引当金	—	4,679
その他	32,828	31,675
流動負債合計	337,309	338,517
負債合計	337,309	338,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	275,506	282,256
資本剰余金	269,342	276,092
利益剰余金	702,772	760,282
自己株式	△110	△110
株主資本合計	1,247,509	1,318,519
新株予約権	18,942	22,547
純資産合計	1,266,452	1,341,067
負債純資産合計	1,603,761	1,679,584

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	359,306	605,180
売上原価	217,158	370,524
売上総利益	142,147	234,655
販売費及び一般管理費	72,147	109,810
営業利益	70,000	124,845
営業外収益		
受取利息	4	5
助成金収入	180	—
その他	0	—
営業外収益合計	186	5
営業外費用		
為替差損	727	19
営業外費用合計	727	19
経常利益	69,459	124,831
税引前四半期純利益	69,459	124,831
法人税、住民税及び事業税	22,087	36,450
法人税等調整額	481	2,995
法人税等合計	22,568	39,446
四半期純利益	46,891	85,385

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)

前事業年度の決算短信(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、SMS配信サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。